



「埋火 第107号」



短歌・俳句・詩をはじめ、昔を思い出して書かれた随筆や童話など、今回も多様な作品がそろいました。巻末には、神戸雄一詩碑祭で入賞した小中学生の俳句と短歌の紹介もあります。

- 申間市立図書館 ☎ 72-1177
● 開館 = 午前10時～午後6時
● 休館日 = 毎週月曜日
● HP = https://www.city.kushima.lg.jp/library/index.html

新刊情報

- ゆうべの食卓(角田 光代/著)
朝星夜星(朝井 まかて/著)
あなたはここにいないとも(町田 そのこ/著)
大雑把かつあやふやな怪盗の予告状(倉知 淳/著)
ガウディの遺言(下村 敦史/著)
完全なる白銀(岩井 圭也/著)
黄色い家(川上 未映子/著)
逆転のパラッド(宇佐美 まこと/著)



「バスを降りたら」 眞島めいり/著

通学のバスの中で見かけるあの人みたいになりたい…。同じ中学の受験に合格した奈鶴と、落ちた律。バスを降りた2人は、新たな一歩を踏み出し…。名前も知らない男女の視点で描く青春成長物語。

今月のテーマ展示 4月23日～5月12日は子ども読書習慣です



申間市立図書館職員がおすすめしたい本を小学校「1・2年」、「3・4年」、「5・6年」、「中学生」に分けて紹介しています。読書への扉を開いてみませんか。

※写真のチラシは昨年のものです。

イベント情報

「春のアニメ上映会」

- 日にち = 4月5日(水)
● 時間 = 午前10時～午後1時～
● 場所 = 2階会議室 ● 料金 = 無料

市長コラム 新たな人生のスタート

寒かった冬の峠を越え、待ち望んだ春の到来です。山ではウグイスが鳴き、小川ではメダカやオタマジャクシたちがはしやぎ始めます。

さて、4月になるとピカピカのランドセルを背負った新1年生が笑顔で通学をする、この時期ならではの光景を目にします。小さな体に背負った大きなランドセルがどことなく重たそうに見えるのは、カバンの中に夢がいっぱい入っているからでしょう。ランドセルの中に入った夢は大きく膨らみ、きつと大輪の花を咲かせてくれると思います。今年もこの光景を見ることができ、見ることに喜びを感じながら、見守りたいと思います。

私の孫も入学時には、校門で泣いて先生たちに迷惑をかけていましたが、今年成人を迎えることができました。体が小さかったので、風邪を引いたりけがをする度に心配しましたが、20年間努力して頑張った結果、今はたくましく育ってくれて孫



の成長に胸が熱くなります。祖父母にとって孫の成長はこの上ない喜びです。

今年から小中学校への入学、高校・大学・専門学校などへの進学、晴れて就職される方など、それぞれの新たな道を進むお孫さんがいらっしゃる方は、私同様うれしさでいっぱいではないでしょうか。就職される方は、勤労・納税といった社会人として責任ある行動を求められるわけですが、そのことは社会の一翼を担う人間として成長した証であり、やりがいを感じながら新たな人生のスタートを切っていただきたいと思っています。子どもや孫たちが一歩一歩成長することが、われわれの楽しみであり、心の活力になります。まだまだその成長を見られるように人生100年、ゴールド人生を健康で元気に長生きできるよつ心掛けていきたいものです。

お持ちの空き家、空き家バンクに登録しませんか？

【問い合わせ先】総合政策課地域振興係 ☎ 55-1153



本市では、移住者の住まいのサポートのために「空き家バンク制度」を導入しています。所有している空き家を有効に活用しませんか？

- 空き家バンクって、どんな制度？
● なぜ空き家対策って必要なの？
→ 老朽化による倒壊の危険があるため
→ 防犯上の問題

- 景観上の問題
● 空き家バンクに登録するとどんなメリットがある？
● 空き家バンク活用の流れ
<空き家バンクへの登録>
① 市総合政策課へ空き家物件の登録申し込みをします。
② 市の担当者が物件の現地確認を行います(所有者の方もご同行ください)。
③ 空き家バンクへ物件情報を登録すると、市の公式サイトなどへ掲載されます。
<空き家バンクの利用>
① 移住希望者から申間市役所へ問い合わせがあります。

- ② 市の担当者が空き家の所有者に連絡を取り、見学日程の調整をします。
③ 空き家の所有者、移住希望者、市の担当者により物件の見学(内覧)を行います。
④ 空き家の所有者と移住希望者の当事者間で、交渉・契約を行います。
※市役所は交渉・契約(賃貸売買)に関する仲介は一切行うことができません。
※契約時・契約後のトラブル防止のためにも、専門業者の仲介をおすすめします。
詳しくは、市公式サイトをご参照ください。
申間市公式サイト→暮らし→空き家→空き家バンク登録について
https://www.city.kushima.lg.jp/main/city/cat3178/post-576.html



うたごよみ

「短歌」 申間短歌会選

娘より届いた手編みのストールを
まとはば温し芯から温し
西小路 坂本 不二子

ちらほらと土に消え入る淡雪や
頼り無さげな国会答弁
古川 野邊 俊子

言ひ訳は問答無用と決めし夕
冬の夕映え美しくあり
堂園 吉田 良子

菌間ブラシ・ロトシックスの用紙まで
夫の棺に入れてやる叔母
霧島 清水 しづ子

ひよつこりと顔出す友のほどく手に
香りほのかにふきのとう笑う
小路 安山 らく

「俳句」 あさひ俳句会選

眠る街眠らざる街臙なり
上町一 又木 順子

目で追ひし病窓過ぎる鴨一羽
仲町 木島 幸子

旅人に点つる一服庭桜
仲町 矢野 欽子

たらの芽の育ち如何にと
尋ねけり
仲町 原 里歌

切株に
名残りの桜散りにけり
(二般投句)
大島 河野 浩泰

うたごよみに掲載する写真を募集しています。
まちの魅力を再発見できる写真のご応募をお待ちしています。
詳しくはこちら▶
総務課秘書広報係 ☎ 72-4559

